

ダイヤスーパーセラマイルド

F☆☆☆☆

塗り替え●金属部

金属部の新設仕様については、別途仕様書をご参照願います。

工程	材料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間	
					工程内	工程間
1 素地調整	●鋼、及び劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いて除去し、SSPC SP-3 (ISO St3・2種ケレン) まで除錆して下さい。注2) ●旧塗膜の活膜部については、チョーキング・塩類等の附着物を高圧洗浄、サンドペーパー掛け等の方法で除去・清掃して下さい。 ●油脂類は、塗料用シンナー等の溶剤を用いて入念に脱脂して下さい。					
2 補修塗り 素地露出面	ダイヤヒスイエボサビ #200A A 液 14.4 kg B 液 1.6 kg ダイヤシンナー-N 刷毛・ローラー					4時間以上 7日以内
3 下塗り	ダイヤヒスイエボサビ #200A A 液 14.4kg B 液 1.6kg ダイヤシンナー-N 刷毛・ローラー		約0.16kg/m ² 約100m ² /セット	1		4時間以上 7日以内
4 上塗り	ダイヤスーパーセラマイルド A 液 10 kg B 液 2 kg ダイヤシンナー-N 刷毛・ローラー		0.20~0.30kg/m ² / 2回 40~60m ² / セット / 2回	2	ローラー 16時間 以上	

注1) 間隔時間は、標準状態(温度23℃、湿度50%RH)での時間を示します。
注2) SPPC: Steel Structures Painting Council(アメリカ鉄鋼構造物塗装審議会)
ISO: International Standard(ISO 8501-1:1998)

調整地	製品名	用途	包装単位
調整地	ダイヤカチオンフィラー	基材面の段差、巣穴、目違いの補修、吸い込み防止	30kgセット 主材: 20kg 混和液: 10kg
下塗り	ダイヤワイドシーラー	脆弱な下地の含浸固着、下地附着補助、吸い込み防止 カチオン系水系1液エポキシ万能シーラー	15kg
	ダイヤガンコシーラーマイルド	弱溶剤2液反応硬化型ウレタン系シーラー	15kgセット A液: 14kg B液: 1kg
	ダイヤセラプライマー-S	ふっ素樹脂塗料塗り替え用シーラー 張りタイル塗り替え用シーラー	16kgセット A液: 14kg B液: 2kg
	ダイヤメンテプライマー-TN	弱溶剤系1液含浸密着型高性能プライマー	14kg
	ダイヤアクレスエポ	複層仕上げの塗り替え用下塗	16kg
主材	ダイヤヒスイエボサビ #200A	金属部補修塗り及び下塗	16kgセット A液: 14.4kg B液: 1.6kg
	ダイヤエポE(1液型)	一般建築・複層塗材RE	20kg
上塗り	ダイヤスーパーセラマイルド	有機ハイブリッド形無機塗料	12kgセット A液: 10kg B液: 2kg
シンナー	ダイヤシンナー-PS	ダイヤセラプライマー-S用シンナー	16%
	ダイヤシンナー-N	ダイヤスーパーセラマイルド用シンナー ダイヤヒスイエボサビ #200A用シンナー	16%

【可使用時間】 5時間以内 (23℃) 【用途】 一般外壁の美装と保護、複層仕上塗材(硬質)の上塗り、一般外壁・屋根の塗り替え

施工・保管上の注意点

- 【塗膜面の調整(新設)】
①素地に付着している塵、汚れ、油類、レタンス等を完全に除去して下さい。
②セメント質下地は、表面の含水率10%以下 (pH10以下) になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は、夏期で3週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は、夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。
③養生が終了後は、均一に乾いてから施工して下さい。
④PC/鉄水、現場打ちコンクリートの場合
1) 豆腐、木コン、破損箇所、不陸などは、セメンタス #2000、セメンタス #2500 等の下地調整材を使用し、補修して平滑して下さい。
2) 表面が緻密でレタンス層がある場合は、レタンスを除去し、ダイヤシーラーエポをご使用下さい。
⑤ALCパネルの場合はダイヤカチオンフィラーを塗布して下さい。
【塗膜面の調整(改修)】
①屋上防水、目地排水管などの水の浸透が予想される箇所については、事前に十分点検し適切な処置をして下さい。
②使用シーリング材の種類により塗膜のひび割れ、剥離、ブリード等の異常を生じる場合があります。あらかじめ塗装仕様を確認して下さい。
③各現場の改修工事仕様に基つき劣化部分の補修や既存塗膜の処理(ケレン、清掃、高圧水洗浄)などを行って下さい。
④脱脂層が厚い場合には、取り除いてから施工して下さい。
⑤チョーキングは、サンダー、ワイヤブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して下さい。
【材料の保管・管理】
①開封した材料は必ず密封し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。
②材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
③下記の製品は危険物ですので、火気や換気等に十分注意して下さい。
ダイヤスーパーセラマイルド、ダイヤシンナー-N、ダイヤガンコシーラーマイルド、ダイヤSPRカラープライマー、ダイヤヒスイエボサビ #200A
【施工】
①気温5℃以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場合は、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業後、降雨、降雪の恐れがある時は(雷)養生をして下さい。
②材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。配合割合を誤りますと、硬膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。
③材料は付着乾燥しますと取れませんが、完全に養生をして下さい。塗付周辺部の養生を完全に、施工時建物の周辺に飛散しないよう注意して下さい。また、塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除くと珪が残りハリとなります。
④乾燥時間は、温度、湿度、および、風等により差異を生じます。
⑤コンプレッサーを使用する場合は必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
⑥下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
⑦施工にあたっては、同一方法で、入隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一塗面塗中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。
⑧施工後24時間以内に降雨、結露等があった場合、水分の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
⑨本施工に入る前に試験塗布を行い、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりムラにならないよう確認して下さい。
⑩希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄め過ぎたときに仕上らないことがあります。特に濃色や下地の吸い込みが強い場合は希釈して下さい。
⑪雨に結露が発生する時期の施工は避けて下さい。
⑫安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
⑬一度に厚く塗ると色分けや発泡が生じることがあるため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布して下さい。
⑭塗膜下地の差によって、塗布量が変わる場合があります。
⑮ツラツラや無機系などの職業者塗装処理がされている下地については、付着性が十分に発揮されないおそれがありますので、ご使用の場合は最寄りの営業所へご相談下さい。
⑯可使用時間及び塗膜間隔は厳守して下さい。層間密着性の低下の原因となります。
⑰使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。
⑱濃色や原色に近い色の場合、強くすると色が取れる場合があります。
⑲下地の吸込ムラにより色彩のムラが発生する場合があります。
⑳シンナーと上塗りを混合するとゲル化する恐れがありますので、容器・刷毛・ローラーなどの共用は避けて下さい。
㉑上塗材を施工する場合は、下塗り後の乾燥状態を確認して下さい。
㉒既存塗膜の劣化が著しい場合、また既存塗膜がセメント系の場合は高圧水洗後ダイヤワイドシーラーを塗布して下さい。
㉓材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。配合割合を誤りますと、硬膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。
㉔ダイヤスーパーセラマイルドを施工する場合は、A液・B液混合後15~20分程度熟成して下さい。色によってムラになる場合があります。
㉕施工後、塗膜が乾燥するまでに、降雨などにより水分の影響を受ける状態が継続された場合、低汚染性能が発現しないことがあります。乾燥までに降雨や積雪、結露が予想される場合は施工を避けて下さい。
㉖予想外の降雨などが発生した場合は、シート養生などをいり塗膜面が濡れないよう対策を講じて下さい。
㉗施工部位により、低汚染性が十分に発揮されないケースがあります。雨降りでない部位や斜壁、水切りが不十分な面や窓まわり及びその下側面などは、低汚染性能が発現しないことがあります。
㉘シーリング材などに含まれる可塑剤、煤煙や油類、サビ汁などが原因の汚染物質に対しては、低汚染性能が十分に発揮されません。
㉙上塗は塗布量を厳守し均一に施工して下さい。塗布量が少い場合は低汚染性能が十分に発揮されません。
㉚塗布面の吸い込みが大きい場合は、下塗などにより吸い込みを少なくし、上塗が塗布面に吸い込まれないようにして下さい。表面に上塗材が十分に確保されていないと耐候性、低汚染性能が発揮されません。
㉛A液とB液は指定の割合で混合し、電動攪拌機を用い十分に混合(2分以上)して下さい。
㉜A液とB液の混合比率が不適切であったり、B液を混合していない場合は、低汚染性能が発揮されません。
㉝タッチアップに使用する場合も、上塗のA液・B液の缶を良く振り、沈降分離していないものを指定の割合で計量混合し、電動攪拌機を用い同様に混合し使用して下さい。
㉞A液とB液の混合後は可使用時間以内に使用して下さい。可使用時間を越えて使用した場合は、作業性や仕上り、汚染性能が発揮されない場合があります。
【安全衛生上の注意】
①取扱いは、できるだけ皮膚に触れないよう、必要に応じて防護マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
②取扱いは、手洗い及び目を十分に行って下さい。
③子供の手の届かない所に保管して下さい。
④作業中・作業後は十分換気を行って下さい。
⑤廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
⑥目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
⑦顔つて飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
⑧中身を使った後、必ず蓋を閉めて下さい。
⑨皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは医師の診断を受けて下さい。
⑩臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所へ安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
【その他】
①その他、詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせ下さい。
②施工に際し、施工・管理上の詳細な注意事項については仕様書等をご確認下さい。
③施工に際し、安全衛生上の詳細な注意事項については安全データシート(SDS)をご確認下さい。

ダイヤターペン可溶形変性無機塗料

ダイヤスーパーセラマイルド

無機と有機のハイブリッド効果

業界初!

ダイヤスーパーセラ 弱溶剤タイプ!

超耐候性

難燃性

高硬度

超低汚染性

フレキシブル性

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たにシーカ・ジャパン株式会社としてスタートいたしました。

製品・工法に関するお問い合わせは
ホームページのお問い合わせフォームよりお願い申し上げます。
<https://jp.n.sika.com/ja/system/contact-us.html#construction>



(25.6月現在) 25.06.400 SJ

ダイヤ スーパーセラマイルド

ターペン可溶形変性無機塗料

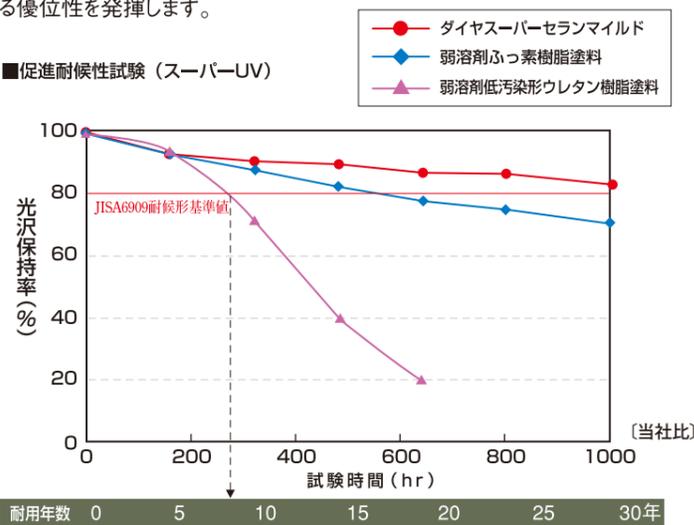
無機と有機のハイブリッド技術が
ふっ素樹脂塗料を凌ぐ。

ダイヤスーパーセラマイルドは、無機の特長である超耐候・超低汚染性・難燃性及び高硬度に、有機の特長であるフレキシブル性・耐酸性・耐アルカリ性を付加した弱溶剤形の有機ハイブリッド型無機塗料です。無機に有機をハイブリッドさせることにより超耐久性を実現し、あらゆる劣化要因から建築構造物を美しく保護します。

超耐候性

ダイヤスーパーセラマイルドは、同じ弱溶剤形の塗料と比較すると、ふっ素樹脂塗料より優れており、低汚染型ウレタン樹脂塗料と比較して大いなる優位性を発揮します。

■促進耐候性試験（スーパーUV）



超低汚染性

ダイヤスーパーセラマイルドは、塗装後3ヶ月までは一旦汚染します。しかし完全な塗膜を形成する6ヶ月後から汚れが落ち始め、1.5年後には殆んど汚れが目立たない程度までに回復します。一旦汚れが落ちると耐汚染性は長期間持続します。



ダイヤスーパーセラマイルド



弱溶剤ふっ素樹脂塗料

〔当社比〕

標準施工仕様

新設●平滑仕上げ

工程	材料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間	
					工程内	工程間
1	素地調整	●躯体の不陸、段差、巣穴等は前もって補修して下さい。 ●素地に付着しているゴミ、汚れ、油脂類、粉類、および、レイタンス等は完全に除去し、表面の含水率10%以下、pH10以下で施工して下さい。				
2	ダイヤカチオンフィラー 主材 硬化液 清水	20kg 10kg 8~13%	0.6~1.0kg/m ² 30~50m ² /セット	1	—	24時間以上
3	下塗り ダイヤガンコシーラーマイルド A液 B液 無希釈	14kg 1kg	0.1~0.3kg/m ² 50~150m ² /セット	1~2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内
4	上塗り ダイヤスーパーセラマイルド A液 B液 ダイヤシンナーN 刷毛・ローラー	10kg 2kg 0~2%	0.20~0.30kg/m ² /2回 40~60m ² /セット/2回	2	ローラー 16時間 以上	—

注1) 間隔時間は、標準状態(温度23℃、湿度50%RH)での時間を示します。 ※ダイヤガンコシーラーマイルドの代わりにダイヤセラプライマーエポホワイトを使用することができます。

新設●複層仕上げ

工程	材料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間	
					工程内	工程間
1	素地調整	●躯体の不陸、段差、巣穴等は前もって補修して下さい。 ●素地に付着しているゴミ、汚れ、油脂類、粉類、および、レイタンス等は完全に除去し、表面の含水率10%以下、pH10以下で施工して下さい。				
2	ダイヤカチオンフィラー 主材 硬化液 清水	20kg 10kg 8~13%	0.6~1.0kg/m ² 30~50m ² /セット	1	—	24時間以上
3	下塗り ダイヤワイドシーラー 無希釈	15kg	0.1~0.2kg/m ² 75~150m ² /缶	1	—	2時間以上
4	主材吹き ダイヤエポE(1液型) 清水	20kg 0~0.4%	1.3~1.5kg/m ² 13~15m ² /缶	1	—	24時間以上
	凸部処理	主材吹き後、20分以内に硬質プラスチックローラーに塗料用シンナーをつけながら軽く押えて下さい。				
5	上塗り ダイヤスーパーセラマイルド A液 B液 ダイヤシンナーN 刷毛・ローラー	10kg 2kg 0~2%	0.25~0.35kg/m ² /2回 34~48m ² /セット/2回	2	ローラー 16時間 以上	—

注1) 間隔時間は、標準状態(温度23℃、湿度50%RH)での時間を示します。

塗り替え●平滑仕上げ

工程	材料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間	
					工程内	工程間
1	素地調整	●劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。 ●既存塗膜のチョーキング、ほこり、汚れ等を高圧水洗等で除去・清掃して下さい。				
2	上塗り ダイヤスーパーセラマイルド A液 B液 ダイヤシンナーN 刷毛・ローラー	10kg 2kg 0~2%	0.20~0.30kg/m ² /2回 40~60m ² /セット/2回	2	ローラー 16時間 以上	—

注1) 間隔時間は、標準状態(温度23℃、湿度50%RH)での時間を示します。

注2) 既存塗膜がアクリルシリコン樹脂塗料又はふっ素樹脂塗料の場合は、ダイヤセラプライマーS又はダイヤメンテプライマーTNを下塗材としてご使用下さい。

塗り替え●複層仕上げ

工程	材料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間	
					工程内	工程間
1	素地調整	●劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。 ●既存塗膜のチョーキング、ほこり、汚れ等を高圧水洗等で除去・清掃して下さい。				
2	下塗り ※ ダイヤアクレスエポ 清水 中毛ローラー ダイヤアクレスエポ 清水 多孔質ローラー・吹付	16kg 16kg 0.8~1.6% 0.4~0.8%	0.6~1.0kg/m ² /2回 16~26m ² /缶/2回 0.8~1.0kg/m ² 16~20m ² /缶	2 1	5時間以上	16時間以上
3	上塗り ダイヤスーパーセラマイルド A液 B液 ダイヤシンナーN 刷毛・ローラー	10kg 2kg 0~2%	0.25~0.35kg/m ² /2回 34~48m ² /セット/2回	2	ローラー 16時間 以上	—

注1) 間隔時間は、標準状態(温度23℃、湿度50%RH)での時間を示します。

注2) 既存塗膜が外装薄塗材C、外装厚塗材Cの場合は施工出来ません。防水形外装薄塗材E、防水形外装複層塗材Eは別途お問い合わせ下さい。

※ ダイヤアクレスエポの代わりにダイヤアクレスフィラーもご使用いただけます。